

もっし
茶匠を 楽しもう!



大水車の郷 水車茶屋なのはな
番匠川を眺めながら里山ならではの味覚が楽しめる食事処。地元で収穫される夏蕎麦、秋蕎麦を石臼を使って自家製粉しており、1年中新鮮な蕎麦を楽しむことができる。蕎麦打ちの体験もできる。



岩屋の干本桜
佐伯市の桜の新名所。毎年春には山肌一面を覆うように約2,000本の桜が満開になる。100万本の菜の花畑とセットで鑑賞するのがオススメ!



ホテルの里
西日本有数のゲンジボタルの群生地。シーズンには延べ数十万匹のホテルが水面を乱舞する。この幻想的な光景を求めて毎年多くの人々が鑑賞に訪れる。6月上旬には「本匠ほたる祭り」が開催される。



佩楯山
標高753.8m。意外にも山頂からは、くじゅう連山や昭和三十九年ドーム、大分臨海工業地帯の煙突群なども一望できる。車でも登れ気軽に絶景が見られる。

【お問い合わせ先】佐伯市観光案内所



清き水の故郷

清流・番匠川の上流域、ゆっくりと時間が流れるのどかな里山の川沿いを散策するコース。「春の息吹・夏の輝き・水面に映える秋・川霧たつ冬」1年を通して表情豊かな水辺の風景と四季折々の花々が楽しめます。またコース沿いには、なんとも愛くるしい石造物や樹齢約500年の御神木があり、古の先人達の息吹も感じられるコースです。

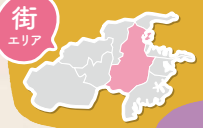
【その他のコース紹介】

フットパスとは?

イギリスを発祥とする「森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと(Foot)ができる小径(Path)」のことです。

佐伯1

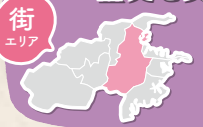
軍都佐伯のいまむかしコース



海の恩恵を受け、海と共に生きてきた佐伯の人々の歴史が詰まったコースです。潮風を感じながら歩いてみませんか?

佐伯2

独歩と往く 歴史と文学のみちコース



この道を往けば、明治の文豪国木田独歩が、なぜこの街を深く愛したのかきっとあなたもわかるはず。

弥生

清流BANJYO 寄添いコース



一級河川である番匠川と透明度の高い井崎川沿い、山際の木製遊歩道を散策するコースです。

上浦

かみうら汐風コース



風光明媚な上浦で潮の香りを楽しみながら、豊かな自然にゆくりと身を任せましょう。運が良ければイルカに出会えるかも・・・。

なおかわ里山の暮らしコース



初めてのなにごどこか懐かしい、素朴な農村をのんびり歩くコースです。

西上浦

彦岳の麓・狩生の暮らしコース



大分県佐伯市と津久見市の間にそびえる彦岳。その麓にある狩生(かりう)の小さな集落の暮らしを眺めながら歩くコースです。

蒲江

蒲江湾岸散策路コース



今なお昭和を感じさせる懐かしい街並みと新鮮な魚介類を活かした海鮮丼(浦井)やお寿司はもちろん、佐伯ラーメンも味わえます。

お問い合わせ先

佐伯市観光案内所

〒876-0803 大分県佐伯市駅前2丁目6番37号
Tel:0972-23-3400 Fax:0972-28-5200

一般社団法人 佐伯市観光協会

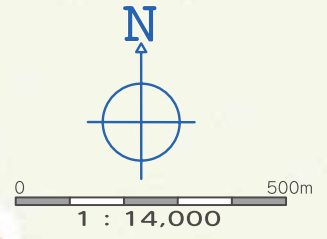
〒876-0854 大分県佐伯市中村南町1-1 佐伯市役所内
Tel:0972-23-1101 Fax:0972-23-1146





清き水の故郷

距離：約7.0Km
 時間：約2.5時間
 高低差：約30m
 消費カロリー：約319kcal



- 凡例
- 県道番号
 - 学校
 - 郵便局
 - 駐車場
 - 車イス可トイレ
 - トイレ
 - 警察
- 基本コース約7km
 オプションコース約2km



START & GOAL

宮ノ越遊水公園

夏は清流・番匠川の透き通った水面に涼しさを求め、川遊びを楽しむ人たちが賑わう。駐車場・トイレ兼更衣室があり、無料で利用できる。

宮ノ越遊水公園
 Start Goal

国道10号

鬼ヶ瀬トンネル

水辺の楽校

本匠小

本匠中

桜のスポット

愛の里工房 (雪ん子寿し)

沈み橋 (長畑)

青面金剛塔 (下波寄)

保食神社の御神木

沈み橋 (一矢返) 石積の小路

臨川庵 (豊後さいき花へんろ)

番匠川

下三股の一石六地藏

春:100万本の菜の花畑 (3月末~4月上旬)
 初夏:水面豊かな田園風景
 秋:実り豊かな田園風景

青面金剛塔 (安説の石塔群)

↓直見駅・国道10号



1 100万本の菜の花畑

小さな里山が点在する本匠地区では最大級の圃場。春には圃場一面が菜の花畑となる。3月下旬の休日には「本匠なの花まつり」も開催される。



2 青面金剛塔 (安説・下波寄)

本匠地区には300基を超える庚申塔があるが、とりわけ青面金剛像の多いのが大きな特徴。おどけたポーズになんとなく愛着がわいてくるから不思議。

4 白山神社の石灯籠

天保13(1842)年に寄進された高さ約3.8mの大きな石灯籠。基壇の三段は二層の切石を重ね、他ではめったに見られない作例で、約180年を経て今なお寸分の狂いも見せていない。



3 下三股の一石六地藏

石垣にはめ込まれた凝灰岩(縦55cm、横130cm)に、浅い彫りではあるが六つのお地藏様が刻まれている。本来は1体ずつ作られるが、一石作りはたいへん珍しい。



5 あじさいロード

アジサイが咲き誇る6月、宮ノ越遊水公園から上流へと続く小路は色とりどりの「あじさいロード」となる。その距離約1km。



6 波寄ハルの出雲さま

大黒さま、恵比寿さまの像が上下2段に収められている大変珍しい石塔。往時、村の虫除け・悪病除けを農耕神である出雲の神様をお願いしたもの。地元の人々は「出雲さま」と呼んで大切にしている。



9 愛の里工房

きこ料理コンクールの林野庁長官賞をはじめ数々の賞を受賞し佐伯を代表する里山の味「雪ん子寿し」を作り続けている。工房だが、予約をすれば、おまかせランチもいただける。



8 保食神社の御神木

推定樹齢約500年、胸高周り約5.8mのスギの御神木。地区内の古木では群を抜いている。境内からは眼下に清流番匠川の流れも見渡せる。意外なパワー&ビュースポット。



7 沈み橋 (一矢返・長畑)

洪水の時、流木が濁流と共に橋の上を越えて流れる。橋と川面との距離が近い橋の上からは一味違った川の風景が楽しめる。車で通る時は少しドキドキするのまた一興!



SAIKI FOOT PASS MAP
 by SAIKI PRINTING
 soza kobo
 ©2019